

在宅看護方法論

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 宮本 郁子 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 22.5 時間
期 間	後期		
単 位 数	2 単位		

・学習方針（講義概要等）

在宅療養者の対象特性を理解し、対象別に看護過程を展開する方法を学修する。目標は、高齢者、終末期、難病および医療ニーズの高い人に対する訪問看護技術を習得する。加えて、対象に応じた看護過程の展開について具体例を通して地域で生活する療養者を支える看護職の役割・機能を理解する。また、退院支援を学び、在宅療養者と家族の生活の質を高めるために社会資源を活用する方法を学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

在宅看護の対象者の特性を理解し、ニーズに対応した具体的な看護の提供方法を学修し、看護過程を展開することができる。また、医療ニーズの高い在宅療養者への訪問看護技術の提供を説明でき、退院移行期、安定期、終末期の看護計画を立案することができる。そして、在宅療養上のリスク管理や災害時の対応について理解でき、療養者の生活の質を高めるための社会資源を活用について説明できる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー： 4、5、6

・到達目標（SBO）

1. 生活における習慣や生きがい等が理解でき、生活習慣の多様性について説明できる。
2. 在宅看護の対象者の特性に対応した看護の提供方法について説明できる。
3. 対象者及び家族から情報収集を行い、アセスメント、目標の設定、計画の立案、評価について説明できる。
4. 退院時支援、在宅移行期、安定期、終末期における看護計画を考えることができる。
5. 療養上のリスクが説明でき、その予防策を考えることができる。
6. 災害時の療養者の対応について理解できる。
7. 在宅看護における療養者と家族を支援するための社会資源の活用について理解できる。

・授業日程

(矢) 東 2-B 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
9/17	火	3	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授	在宅看護過程の展開 ・在宅療養者の多様性を理解できる ・在宅療養者の特性に対応した看護過程の展開が理解できる
9/20	金	2	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授	情報収集とアセスメント ・在宅療養者の看護に必要な情報収集の方法とアセスメントが理解できる <グループワーク>
9/24	火	3	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授	介入時期による看護計画 ・退院前後、療養安定期、急性増悪期、終末期の看護計画を説明できる
9/27	金	3	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授	対象別訪問看護過程1(食生活・経管栄養法・中心静脈栄養) ・食生活・嚥下のアセスメントおよび経管栄養や中心静脈栄養の療養者への看護が説明できる
10/1	火	3	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授	対象別訪問看護過程2(排泄・留置カテーテル・ストーマ) ・排泄のアセスメントおよび尿道留置カテーテルやストーマ装着の療養者への看護が説明できる
10/8	火	3	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授	対象別訪問看護過程3(清潔・褥瘡) ・清潔に関するアセスメントとケア方法および褥瘡予防、褥瘡アセスメント、治療やケアについて説明できる
10/11	金	3	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授	対象別訪問看護過程4(移動・移乗・環境整備) ・療養環境のアセスメントと移動・移乗の方法について説明できる

10/28	月	3	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授	対象別訪問看護過程 5 (認知機能・認知症) ・在宅療養者の認知機能の Assessment と認知機能に障害のある療養者のケアについて説明できる
10/30	水	2	地域包括ケア講座	藤原 弥生 助教	対象別訪問看護過程 6 (呼吸・在宅酸素療法・人工呼吸器) ・在宅療養者の呼吸機能と環境の Assessment が理解できる ・在宅酸素療法や人工呼吸器を装着している療養者への看護が説明できる
11/6	水	2	地域包括ケア講座	藤原 弥生 助教	対象別訪問看護過程 7 (脳卒中) ・脳卒中による後遺症のある療養者に対する看護過程の展開を説明できる ・在宅におけるリハビリテーションについて説明できる
11/11	月	3	地域包括ケア講座	藤原 弥生 助教	対象別訪問看護過程 8 (難病) ・神経難病等の療養者に対する看護過程の展開を説明できる ・支援に必要な社会資源が理解できる
11/13	水	2	地域包括ケア講座	藤原 弥生 助教	対象別訪問看護過程 9 (がん) ・がん治療中の療養者への看護過程の展開を説明できる
11/18	月	3	地域包括ケア講座	藤原 弥生 助教	対象別訪問看護過程 10 (終末期) ・終末期にある在宅療養者への看護過程を説明できる ・自己決定 (意思決定) への支援が理解できる
12/2	月	3	地域包括ケア講座	藤原 弥生 助教	対象別訪問看護過程 11 (小児) ・在宅療養が必要な小児の看護過程の展開を説明できる ・家族の主体性 (セルフケア力) を重視した支援が説明できる

12/9	月	3	地域包括ケア講座	藤原 弥生 助教	療養上のリスクマネジメント ・在宅看護におけるリスクを理解し、その予防策について説明できる ・災害時の対応について理解できる
------	---	---	----------	----------	--

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論	河原加代子 他	医学書院	2017
参	ナーシング・グラフィカ 在宅看護論① ②	臺 有桂 他編	メディカ出版	2015 2018
推	関連図で理解する在宅看護過程	正野 逸子 他編	メヂカルフレンド社	2018

・成績評価方法

定期試験 70%、課題レポート 30% 合計 100%にて評価する

・特記事項・その他

<p>【事前事後学修の具体的内容及び時間】 シラバスに記載されている次回の授業内容及び到達目標を確認し、教科書・参考書等を用いて事前学修を行うこと。また、授業を受けた後は該当する内容を教科書等で復習し、ポイントを整理して次回の授業に関する課題に取り組む。各授業に対する事前学習時間は最低 30 分を要する。</p> <p>【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 提出されたレポートについて、評価後個人面接を実施する。</p> <p>【Web Class の利用】 参考文献および闘病記等について、随時図書館と連携しながら提示する。 レポートは Web Class を利用して提出すること。詳細は講義時説明する。</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 保健師（別表 1）：公衆衛生看護学 個人・家族・集団・組織の支援 看護師（別表 3）：統合分野 在宅看護論</p>
--

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター (VPL-FWZ60)	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ (P-100)	1	講義および学生のグループ発表時資料投影
講義	ビデオデッキ (VHS)	1	講義時資料投影
講義	DVD (ブルーレイおよび一般 DVD) 再生機器	1	講義時資料投影